

今月の技術対策 (畜産編FAX情報)

留萌農業改良普及センター・留萌地区農協酪農畜産対策協議会

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

その他情報も
HPで公開中!

1 暑熱対策 (管理)

- (1) トンネル換気や扇風機は風速が不十分であったり、部分的に死角が発生するので、牛体に風があたるよう設備を点検し、十分に風が行き渡るよう入気方法を工夫しましょう。
- (2) 暑熱ストレスの影響が特に大きい乾乳牛、分娩直後及び高泌乳牛は特に徹底しましょう。
- (3) 体温の上昇や激しい呼吸等、熱射病が疑われる場合は早めに獣医師に相談しましょう。

最も発汗量の多い首から肩付近に
風がよく当たるように配置する。

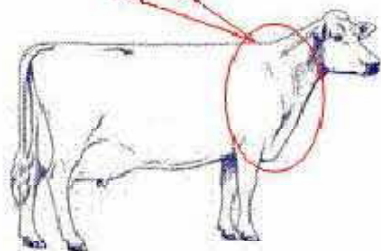
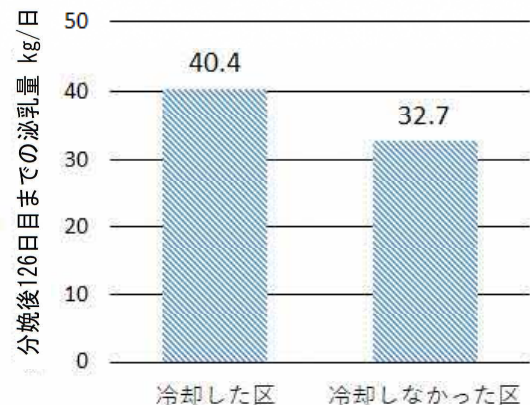


図1 牛への送風ポイント



Tao et al 2011 J.DairySci

乾乳期の平均 THI=78(気温 26℃、相対湿度 90%)
乾乳期はスプリンクラーと換気扇で冷却分娩後は
全頭冷却

図2 乾乳期の冷却による影響

2 飼料給与に係わる暑熱対策

- (1) 採食量の低下を防ぐため、涼しい時間帯の飼料給与や給与回数を増やす、こまめな飼槽の掃き寄せ等を行い、乳牛の採食意欲を高めましょう。
- (2) ルーメンアシドーシスの発生を予防するため、重曹等を給与しましょう。
- (3) 塩分やミネラルの給与や、ビタミン類も補給し免疫力を高めましょう。
- (4) 給水施設の管理を徹底し、清潔な水をいつでも十分に飲める状態を保ちましょう。
- (5) 飼槽に凹凸があると腐敗臭等の影響で採食量が低下するので、こまめに清掃しましょう。

3 農場の衛生管理

- (1) 夏期間は病原菌が繁殖しやすく、暑熱ストレスにより家畜の免疫力が低下する傾向があります。防疫対策を徹底し、病原菌の侵入を未然に防ぎましょう。
- (2) 農場の出入り口に石灰を撒き、消毒ゾーンを設けましょう。畜舎の出入り口に踏み込み消毒槽を設置し、靴の消毒を徹底しましょう。薬液は定期的に交換しましょう。



図2 踏み込み消毒槽